



2010 BUSINESS REPORT

株主の皆様へ 第50期第2四半期報告書
2010.4.1 - 2010.9.30

内外テック株式会社



ファインテクノロジーで未来を拓く
NaigaiTEC

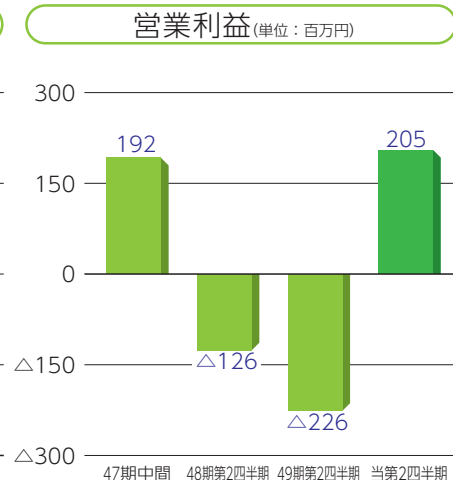
決算ハイライト(連結) FINANCIAL HIGHLIGHTS

売上高

8,694百万円
(前第2四半期比124.8%)



営業利益

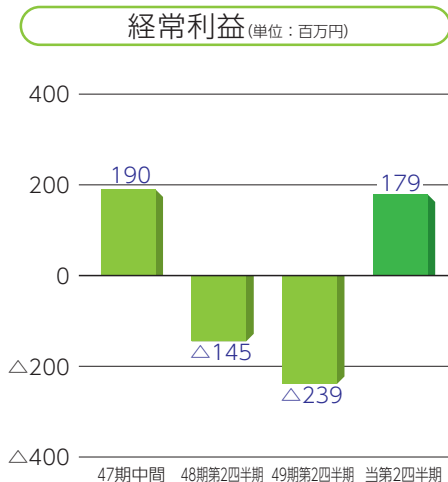


営業利益

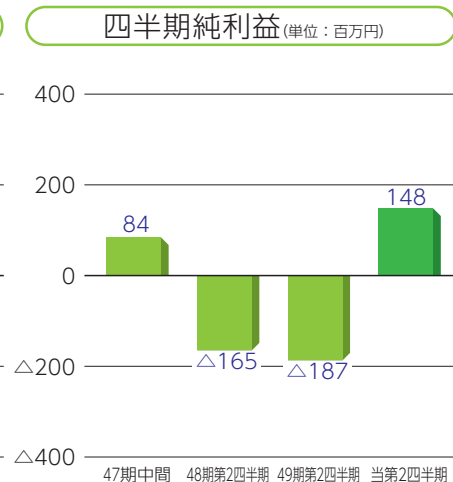
205百万円
(前第2四半期は△226百万円)

経常利益

179百万円
(前第2四半期は△239百万円)



四半期純利益



四半期純利益

148百万円
(前第2四半期は△187百万円)

製販一体の総合力による 受託製造事業の展開と 販売事業の拡大

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに内外テックグループの第50期第2四半期累計期間（中間期）（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間（当中間期）におけるわが国経済は、中国・アジアを中心とした新興国の経済が好調に推移していることやエコカー補助金などの政策効果の影響により、企業収益が改善するとともに個人消費も堅調に推移し、引き続き着実な回復となりましたが、一方、円高の進行や雇用情勢に改善が見られないこと、さらに政策効果が途切れることなどにより、先行き不透明感の高まりが懸念され始めました。

また、当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界・FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置業界におきましては、高機能携帯電話・薄型テレビなどを中心とする各種電子機器への需要が拡大していることに加え、中国などの新興市場でのデジタル家電の拡大により、半導体メーカーの設備投資が活発化し、これにより半導体製造装置メーカー等の受注も旺盛になりました。



こうした経営環境のもと、当社グループにおきましては、製販一体の総合力の強化により受注獲得の取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間での連結売上高は、取引先の受注回復を受け86億94百万円（前年同期比124.8%増）となりました。損益面では、営業利益2億5百万円（前年同期は営業損失2億26百万円）、経常利益1億79百万円（前年同期は経常損失2億39百万円）となり、また、四半期損益は、特別損失30百万円を計上しましたが、四半期純利益1億48百万円（前年同期は四半期純損失1億87百万円）となりました。

当社グループでは、急激な円高やデフレ傾向等により先行きが見えにくい状況が続くと予想される経済環境下において、引き続き原価低減や業務の効率化等を進めるとともに、販売事業では既存顧客取引シェアの拡大や新規市場の開拓等を推し進め、受託製造事業においては、装置メーカーの設計から製作・設置、保守・維持管理までの一貫した機能（MDMS機能：Mechatronics Design & Manufacturing Services）や技術力の強化により、装置組立の受注拡大や保守メンテナンスの全国展開を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 権田 浩一

連結財務諸表

FINANCIAL STATEMENTS

四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成22年9月30日	前期末 平成22年3月31日
資産の部		
流動資産	8,120	6,419
現金及び預金	2,771	2,197
受取手形及び売掛金	4,472	3,466
商品及び製品	756	549
仕掛品	42	35
原材料及び貯蔵品	44	39
その他	33	130
固定資産	2,249	2,271
有形固定資産	1,494	1,495
無形固定資産	15	17
投資その他の資産	739	758
資産合計	10,369	8,690
負債の部		
流動負債	6,542	5,270
固定負債	2,610	2,333
負債合計	9,153	7,604
純資産の部		
株主資本	1,195	1,061
資本金	389	389
資本剰余金	322	322
利益剰余金	511	378
自己株式	△28	△28
評価・換算差額等	20	23
その他有価証券評価差額金	20	23
純資産合計	1,216	1,085
負債純資産合計	10,369	8,690

1

資産合計
10,369百万円
(前期末比 +1,679百万円)

前期末に比べ、現金及び預金が574百万円、受取手形及び売掛金が1,006百万円、商品及び製品が206百万円増加しました。

2

負債合計
9,153百万円
(前期末比 +1,548百万円)

前期末に比べ、支払手形及び買掛金が1,122百万円、社債及び長期借入金が343百万円増加しました。

3

純資産合計
1,216百万円
(前期末比 +130百万円)

前期末に比べ、利益剰余金が133百万円増加しました。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期	
	自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日	自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日	
売上高	8,694	3,867	4
売上原価	7,808	3,523	
売上総利益	885	343	
販売費及び一般管理費	679	569	
営業利益又は営業損失（△）	205	△226	5
営業外収益	15	25	
受取利息及び受取配当金	3	4	
受取賃貸料	4	—	
その他	6	21	
営業外費用	41	39	
支払利息	35	36	
その他	6	2	
経常利益又は経常損失（△）	179	△239	
特別利益	2	56	
貸倒引当金戻入額	2	2	
役員退職慰労未払金戻入益	—	53	
その他	0	1	
特別損失	30	0	
投資有価証券評価損	24	—	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6	—	
その他	0	0	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	151	△182	
法人税等	3	4	
少数株主損益調整前四半期純利益	148	—	
四半期純利益又は四半期純損失（△）	148	△187	

4
<p style="text-align: center;">売上高 8,694百万円 (前年同期比+4,826百万円)</p> <p>販売事業は8,117百万円（前年同期比145.0%増）、受託製造事業は576百万円（前年同期比4.2%増）となりました。</p>

5
<p style="text-align: center;">営業利益 205百万円 (前年同期は営業損失△226百万円)</p> <p>販売事業は146百万円（前年同期は営業損失△208百万円）、受託製造事業は42百万円（前年同期は営業損失△35百万円）となりました。</p>

6
<p style="text-align: center;">営業活動によるキャッシュ・フロー 274百万円</p> <p>主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の増加151百万円及び仕入債務の増加1,122百万円など、主な減少要因は売上債権の増加994百万円などです。</p>

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期	
	自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日	自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	274	△211	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△147	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	327	366	8
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	559	6	
現金及び現金同等物の期首残高	1,770	1,681	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,329	1,688	

7
<p style="text-align: center;">投資活動によるキャッシュ・フロー △42百万円</p> <p>主として定期預金の預入による支出24百万円によるものです。</p>

8
<p style="text-align: center;">財務活動によるキャッシュ・フロー 327百万円</p> <p>主な増加要因は長期借入れによる収入600百万円及び社債の発行による収入300百万円など、主な減少要因は長期借入金返済による支出516百万円及び社債の償還による支出40百万円などです。</p>

会社の概況 (平成22年9月30日現在)

COMPANY PROFILE

■会社概要

設立年月日	昭和36年6月1日
資本金	389,928千円
主な事業内容	空気圧機器、同応用機器類、工作機械、電気機器、 電子機器その他工具類の売買及び輸出入
従業員	連結271名

■役員 (平成22年12月1日現在)

取締役社長 (代表取締役)	権田浩一	内外エレクトロニクス株式会社代表取締役社長
取締役	高階秀俊	西日本営業部長
取締役	茨田 満	東日本営業部担当、資材調達部担当 内外エレクトロニクス株式会社取締役
取締役	米澤秀記	管理部長
常勤監査役	齋藤安宣	内外エレクトロニクス株式会社監査役
監査役	浅野謙一	弁護士
監査役	松村俊夫	公認会計士

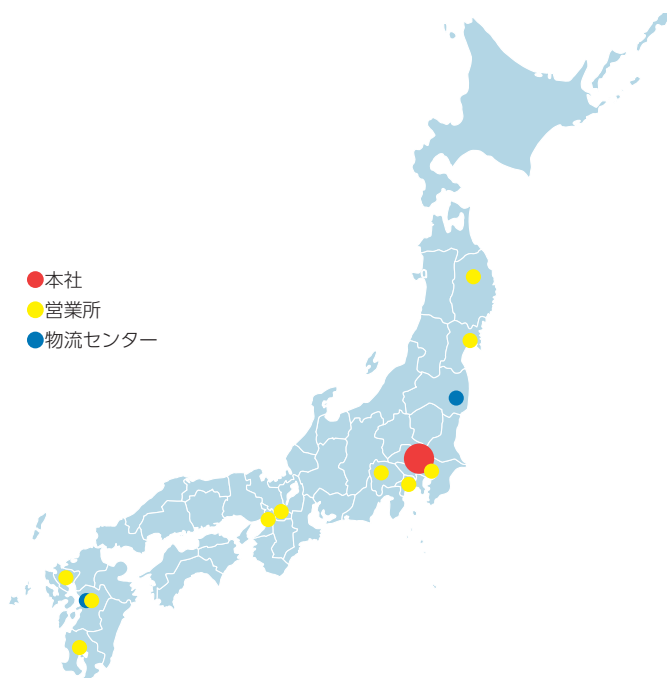
(注) 監査役齋藤安宣、浅野謙一、松村俊夫の各氏は、社外監査役であります。

■連結子会社 (平成22年12月1日現在)

会社名	資本金	当社の持株比率	主要な事業内容
内外エレクトロニクス株式会社	90百万円	100%	半導体・FPD製造装置 等の組立及び保守メン テナンス等

■営業所等 (平成22年10月1日現在)

本社	甲府営業所	鹿児島営業所
北上営業所	京都営業所	福島物流センター
仙台営業所	大阪営業所	九州物流センター
東京営業所	鳥栖営業所	
相模原営業所	熊本営業所	



株式の状況

発行可能株式総数 17,000,000株
 発行済株式の総数 5,072,000株
 株主数 594名

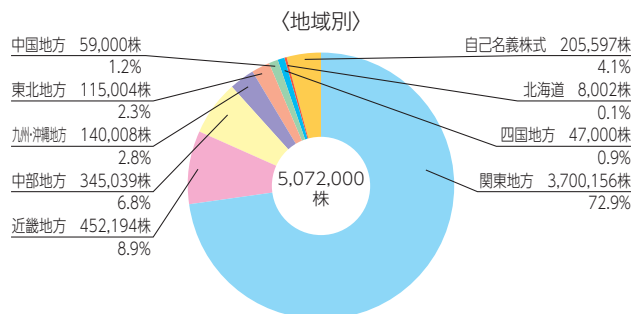
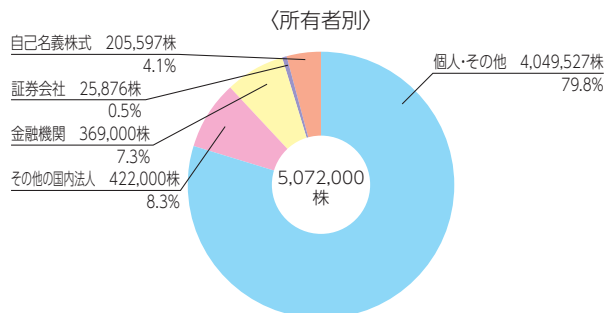
(注) 前期末に比し10名減少いたしました。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
権田浩一	747,000	15.35
内外テック社員持株会	349,200	7.17
権田益美	277,000	5.69
大塚久子	263,880	5.42
権田祐実	156,000	3.20
権田雄大	156,000	3.20
副島真由美	149,040	3.06
株式会社東京都民銀行	148,000	3.04
SMC株式会社	120,000	2.46
高津伝動精機株式会社	100,000	2.05

(注) 1. 当社は自己株式を205,597株所有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は自己株式(205,597株)を控除して計算しております。また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式の分布状況



HPのご案内



<http://www.naigaitec.co.jp>



詳しい決算情報は当社ホームページでも開示しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	剰余金の配当 3月31日 なお中間配当を実施するときの株主確定日は 9月30日
定時株主総会	6月
単元株式数	1,000株
基準日	3月31日
公告方法	その他臨時に必要があるときは、あらかじめご告知いたします。 当社のホームページ (http://www.naigaitec.co.jp) に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。



内外テック株式会社

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋二丁目11番22号
サンタワーズセンタービル7階
管理部 総務グループ 電話 (03) 5433-1123

